

第593号（平成27年9月2日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

1. 平成27年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募について
2. 第3回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会の開催について

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 27年度低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始
2. 28年度港湾関係予算概算要求額は2853億円（対前年度比1.16倍）
3. 港湾局、28年度の新規制度として5件を要望

=====

《今週の報道発表》

1. 平成27年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募について  
詳細については下記にてご確認ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port06\\_hh\\_000108.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000108.html)

【国土交通省 平成27年8月31日】

2. 第3回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会の開催について

詳細については下記にてご確認ください。参加希望の方は事務局までご連絡願います。

<http://www.env.go.jp/press/101412.html>

【環境省 平成27年8月31日】

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成27年9月4日（木）

13：30～14：30 WG③・④

14：30～15：30 WG①

15：30～16：30 WG②

場 所：みなと総研3階会議室

=====

## 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

### 1. 27年度低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始

国土交通省と環境省は、平成27年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始した。応募期間は平成27年8月31日から27年9月28日17時必着。公募対象者は株式会社、一般社団法人、一般財団法人等で、対象とする事業は①海上輸送による低炭素型静脈物流システム構築事業、②循環資源等取扱設備導入事業（①の事業の実施に伴うものに限る）。

運賃負担力が小さく、納期の制約が少ない循環資源等は、本来海上輸送に適しているにもかかわらず、その輸送形態の9割を陸送（トラック輸送）が占めており、モーダルシフト・輸送効率化による低炭素化の余地が大きい。また、輸送効率化を通じた静脈物流コストの削減により、従来最終処分等されていた循環資源等の広域リサイクルが経済的に可能となり、リサイクル率の向上や最終処分量の低減が期待される。

同事業は、海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費の一部を補助することにより、静脈物流のモーダルシフト及び輸送効率化を推進し、二酸化炭素の削減を図るとともに、循環型社会の構築に寄与することを目的としている。

【港湾空港タイムス】

---

### 2. 28年度港湾関係予算概算要求額は2853億円（対前年度比1.16倍）

国土交通省港湾局は28年度港湾関係予算概算要求額は2853億円（対前年度比1.16倍）をまとめ、財務省に要望した。国際コンテナ戦略港湾政策の深化・加速に向けた取組みのほか、復旧・復興、地域の基幹産業の競争力強化に向けた港湾整備、クルーズ関連施策、防災・減災対策等を推進する。新規制度を5件、税制改正（延長、拡充）5件を要望している。

28年度要求では、政府の「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「日本再興戦略改訂2015年」を踏まえ、①東日本大震災からの復興加速、②日本経済の再生、③国民の安全・安心の確保、④豊かで便利性の高い地域社会の実現、といった4分野を基本方針に掲げている。同取組み推進により、港湾・海岸インフラのストック効果を最大限発現し、「民間投資を喚起する成長戦略」の実効性を高めていく。

公共事業の予算要求額は2810億円で、内訳は▽港湾整備事業2684億円（対前年度1.16倍）、▽港湾海岸事業114億円（1.17倍）、▽災害復旧事業等13億円（1.00倍）。

【港湾空港タイムス】

---

### 3. 港湾局、28年度の新規制度として5件を要望

国土交通省港湾局は、28年度予算概算要求で、新規制度5件を要望している。概要は以下の通り。

▽国際戦略港湾コンテナターミナル高度化実証事業＝コンテナ荷役に伴う時間・コストの縮

減や渋滞緩和を目指し、「荷役システム高度化実証事業」、「情報技術を活用した海上コンテナ物流の高度化事業」を行う。

▽港湾区域等の占用に関する手続きの整備等＝長期かつ大規模な水域の占用が必要となる港湾における洋上風力発電施設の導入円滑化に向け、占用に関する手続き、許可基準の整備並びに運用指針の策定を行う。

▽旅客施設等への無利子貸付＝クルーズ需要の増大に対し受入環境を改善するため、民間事業者による旅客施設等の建設・改良等を支援する。

▽官民連携の促進のための体制構築＝多様化する港湾活動に対応するため、「みなとオアシス（84箇所認定・登録）」を構成する港湾施設の管理などに協力する団体や法人等を港湾管理者が指定する制度を創設する。

▽非常災害時における海上輸送路の確保＝災害時に緊急物資輸送等を確実に実施するため、これまで三大湾で適用していた緊急確保航路について、瀬戸内海でも指定する。

### 【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####